

令和5年 畑作・野菜病害虫発生情報 第5号  
作物名：小麦（6月上旬）

うどんこ病及び赤さび病の発生量は平年よりやや多いです。

1. うどんこ病（発生量：やや多い）

本年の発生地点率は平年並、発病葉率は平年よりやや高く、病斑面積率は平年より高かった。

地域及び品種別でみると、津軽地域の「キタカミコムギ」の発病葉率及び病斑面積率は、平年より低かった。また、「ネバリゴシ」の発病葉率及び病斑面積率も平年より低かった。県南地域の「ネバリゴシ」は発病葉率、病斑面積率ともに平年より高かった。

巡回調査におけるうどんこ病の発生状況

調査時期	年次	調査地点数	発生程度別地点率(%)				発生地点率(%)	発病葉率(%)	病斑面積率(%)
			甚	多	中	少			
6月上旬	本年	13	0	15.4	7.7	53.8	76.9	44.8	2.47
	前年	13	0	0	0	76.9	76.9	36.9	0.81
	平年	13	0	3.8	6.2	61.3	71.3	38.5	1.45

注) 2023年から上位3葉調査、前年値、平年値は上位2葉調査。

発生程度別基準：甚=病斑面積率17%以上、多=同9~16%、中=同5~8%、少=同4%以下

(参考) 地域及び品種別のうどんこ病の発生状況

地域	品種	調査地点数	本年		前年		平年	
			発病葉率(%)	病斑面積率(%)	発病葉率(%)	病斑面積率(%)	発病葉率(%)	病斑面積率(%)
津軽	キタカミコムギ	6	1.8	0.02	11.0	0.1	8.6	0.29
	ネバリゴシ	3	58.7	0.75	60.7	1.7	59.9	2.31
県南	ネバリゴシ	4	98.9	7.43	58.0	1.2	68.2	2.63

2. 赤さび病（発生量：やや多い）

本年の発生地点率は平年より高く、発病葉率は平年並、病斑面積率は平年よりやや高かった。

地域及び品種別でみると、津軽地域の「キタカミコムギ」の発病葉率及び病斑面積率は、平年並であった。津軽地域の「ネバリゴシ」では発生は認められず、県南地域の「ネバリゴシ」では発病葉率、病斑面積率ともに平年より高かった。

巡回調査における赤さび病の発生状況

調査時期	年次	調査地点数	発生程度別地点率(%)				発生地点率(%)	発病葉率(%)	病斑面積率(%)
			甚	多	中	少			
6月上旬	本年	13	0	0	0	61.5	61.5	3.5	0.42
	前年	13	0	0	0	7.7	7.7	0.2	0.00
	平年	13	0	0	0	15.6	15.6	3.4	0.33

注) 2023年から上位3葉調査、前年値、平年値は上位2葉調査。

発生程度：甚=病斑面積率81%以上、多=同51~80%、中=同31~50%、少=同30%以下。

(参考) 地域及び品種別の赤さび病の発生状況

地域	品種	調査地点数	本年		前年		平年	
			発病葉率(%)	病斑面積率(%)	発病葉率(%)	病斑面積率(%)	発病葉率(%)	病斑面積率(%)
津軽	キタカミコムギ	6	6.3	0.73	0.3	0.00	7.2	0.72
	ネバリゴシ	3	0	0	0	0	0	0
県南	ネバリゴシ	4	2.0	0.27	0	0	0.1	0.00

《当情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900  
〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6 担当：技師 佐藤香緒里